

## 4. 子どもを共に育むまち

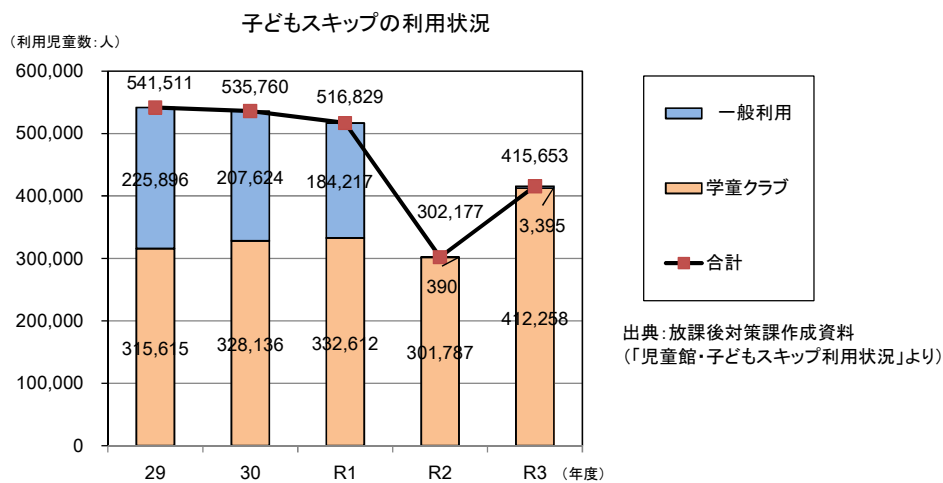
### 1. 子どもの自己形成・参加支援

#### 1. 子どもスキップの利用状況

平成16年度より、児童館より子どもスキップへ順次移行し、平成28年8月の「子どもスキップ池袋本町」開設により、全22施設の移行が完了した。

平成29年4月より、子ども課から教育部放課後対策課へ業務移管となった。

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、子どもスキップ一般利用は、令和2年夏休みより、時間・人数制限を実施している。さらに令和3年11月より、「放課後子ども教室」の対面開催を再開している。

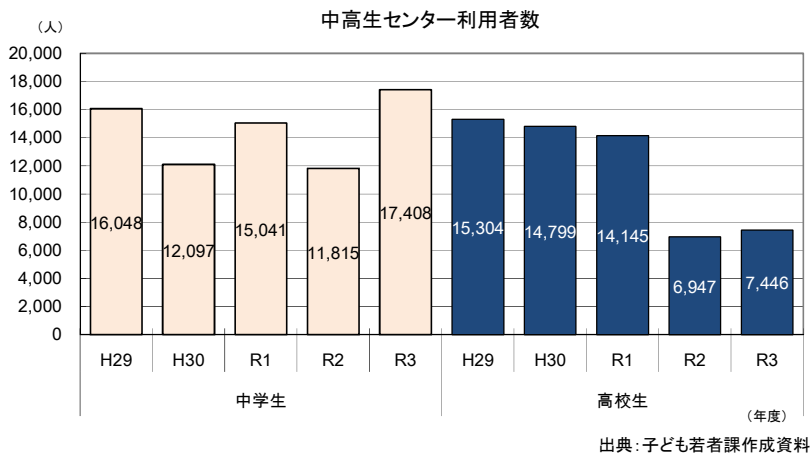


**【子どもスキップとは】**

「子どもスキップ」は、小学校区単位で「学童クラブ」・「一般利用」・「放課後子ども教室」を一体的に運営する小学生対象の放課後事業である。子どもスキップ専用スペースのほか、学校施設を活用しており、児童は広い校庭で思いきり遊ぶことができる。

#### 2. 中高生センター利用者数

平成24年4月にジャンプ長崎が開設され、ジャンプ東池袋と併せて2施設となった。

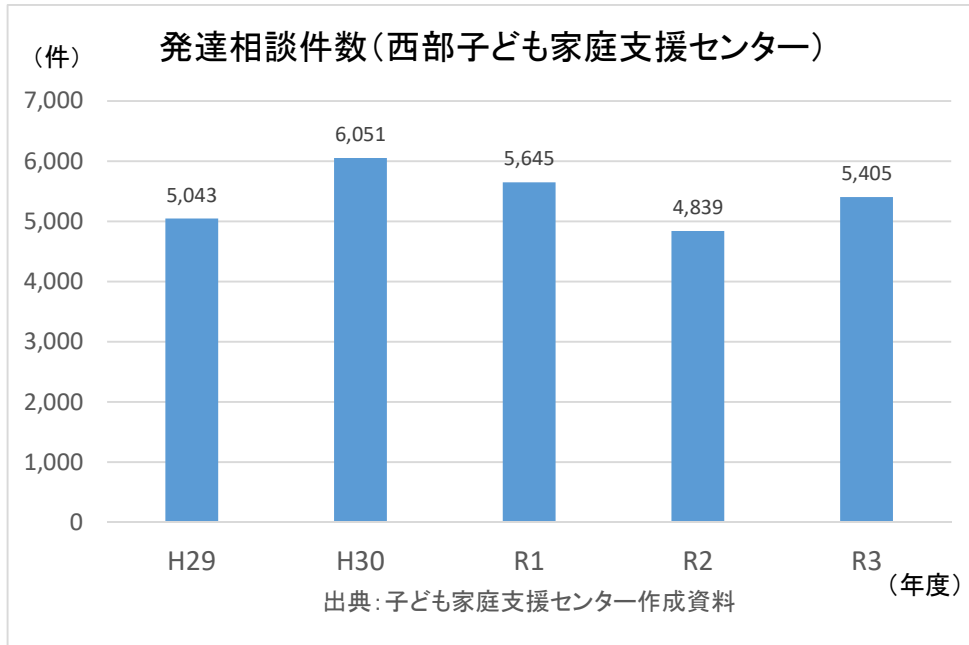


**【中高生センターとは】**

中高生の居場所施設として開設。中高生等が自主的に活動する場であり、中高生の自主的な活動を支援する場でもある。

4-1 子どもの自己形成・参加支援

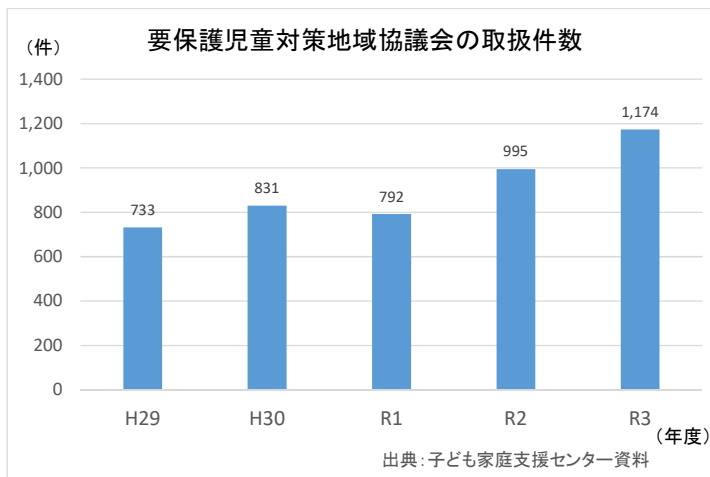
3. 発達相談件数



基本計画(豊島区基本計画2022-2025) 施策の進捗状況を測る参考指標	現状値 <2019年度>	目標値 <2025年度>	参考値 <2030年度>
発達相談件数(西部子ども家庭支援センター)【件】	5,645	5,700	5,800

4. 要保護児童対策地域協議会の取扱件数

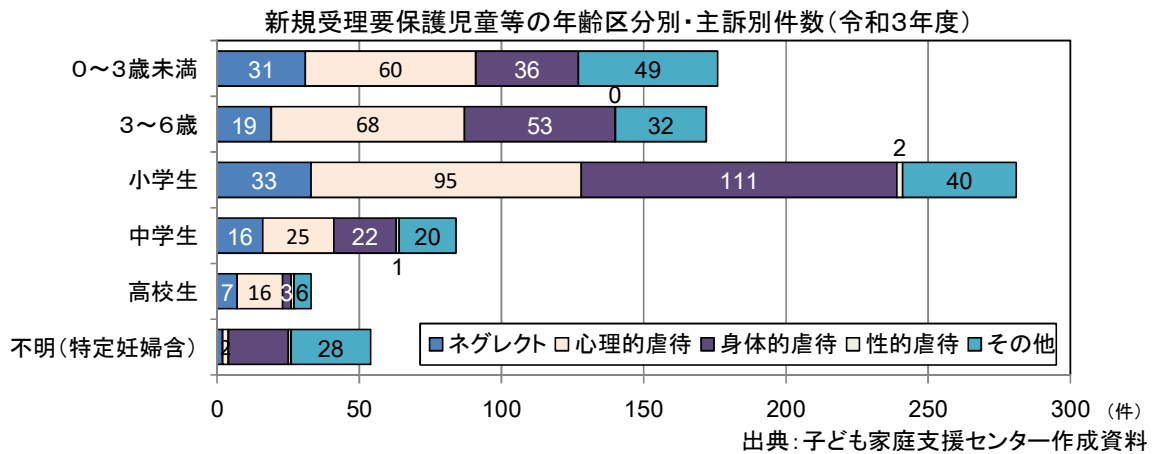
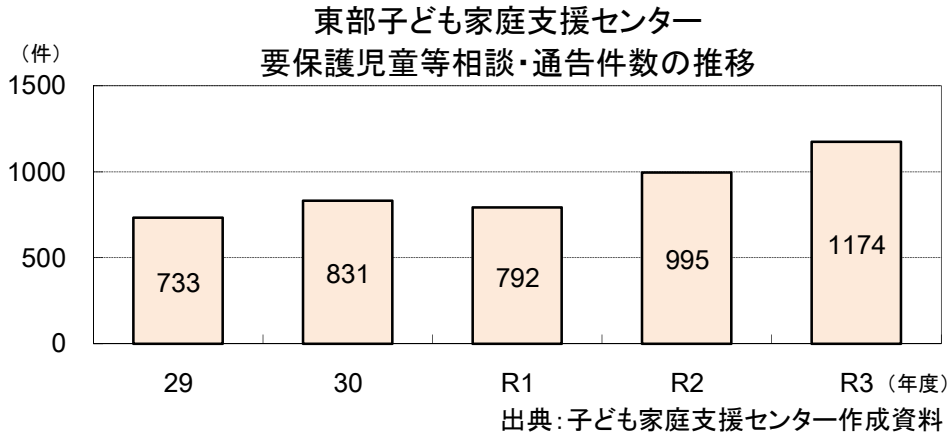
児童虐待に対する地域や関係機関の危機感の高まりにより、新規の相談・通告件数が増加傾向にある。虐待の種別については、面前DVの増加により心理的虐待が大幅に増加している。R3年度は身体的虐待もR2年度より急増しているが、地域や関係機関の児童虐待への理解が深まりつつあり、危機意識が高まって通報等の増加につながっていることも考えられる。



基本計画(豊島区基本計画2022-2025) 施策の進捗状況を測る参考指標	現状値 <2020年度>	目標値 <2025年度>	参考値 <2030年度>
要保護児童対策地域協議会の取扱件数【件】	995	1,120	1,200

5. 要保護児童等相談・通告件数

児童虐待に対する地域や関係機関の危機感の高まりにより、新規の相談・通告件数が増加傾向にある。虐待の種別については、身体的虐待の増加傾向及び、面前DVの増加により心理的虐待も令和2年度同様に増加。



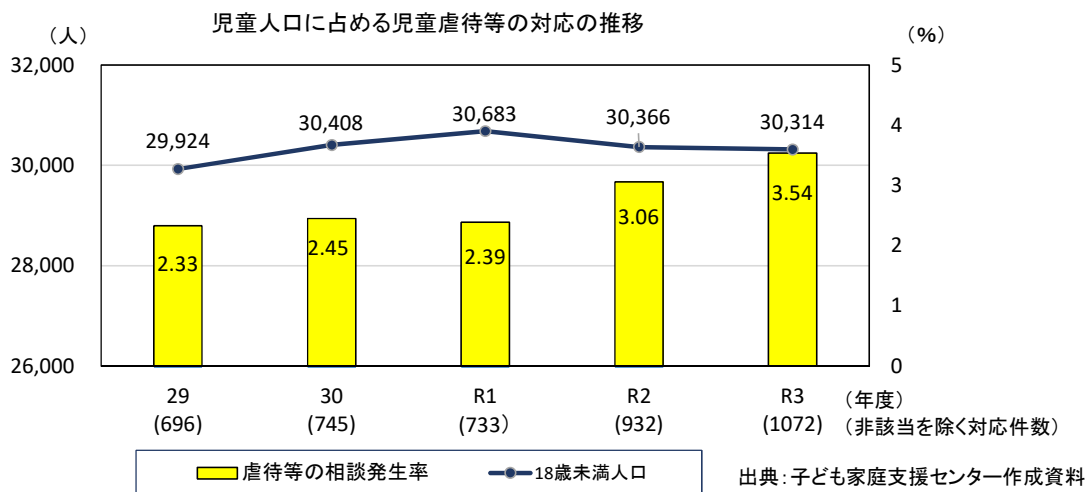
「豊島区要保護児童対策地域協議会」とは

要保護児童対策地域協議会とは、虐待等不適切な養育を受けた子ども等、要保護児童等に関する相談・通告を受け、情報の共有と支援を行うために協議を行う場です。児童福祉法では、区市町村は要保護児童対策地域協議会を設置し、虐待を含むすべての子ども・家庭相談を受け、問題解決に向けて対応することを努力義務化しています。

豊島区においては、東部子ども家庭支援センターが要保護児童対策地域協議会の中核機関として、要保護児童等に対する支援のためにネットワークの運営にあたります。

### 6. 児童人口に占める児童虐待等の対応の推移

令和3年度は、過去最高の虐待対応件数となり、相談発生率が急上昇した。児童虐待が大きな社会問題となり、国を挙げての対策が展開される中、区民の危機意識が年々高くなっていると考えられる。また、地域の虐待防止の普及・啓発活動の高まりにより、当面、相談・通告件数の増加が続くと予想される。

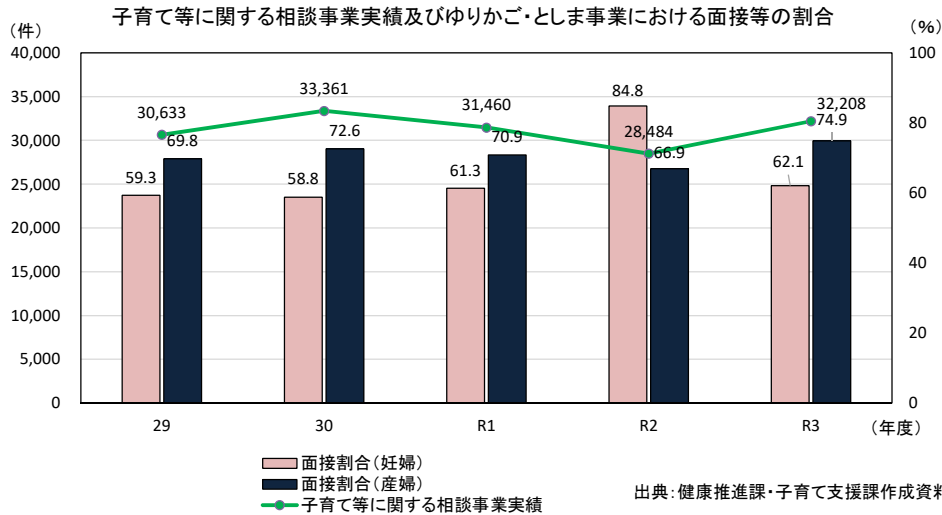


## 2. 子ども・子育て支援の充実

### 1. 子育て等に関する相談事業実績、ゆりかご・としま事業の面接割合

子育て等に関する相談として、子ども家庭支援センター、訪問、巡回発達、ひとり親家庭、女性、家庭相談等を実施している。

平成27年度よりゆりかご・としま事業を開始し、妊娠中から出産・子育ての切れ目のない支援を実施している。コロナ禍により令和2年度の実績は一部低下（妊婦面接は、移動支援事業を行ったこともあり増加）したが、令和3年度は回復傾向となった。



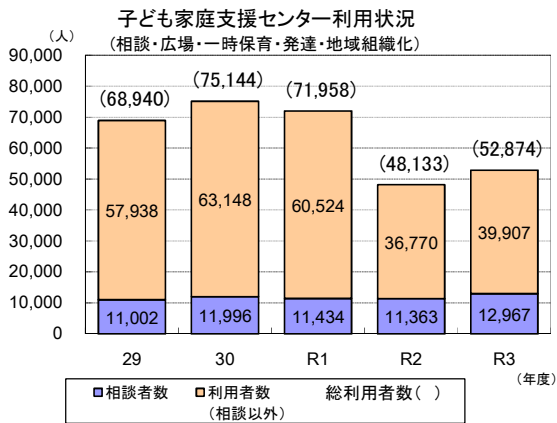
#### 【ゆりかご・としま事業】

妊娠中から出産・子育てに関する様々な不安を軽減し、必要な支援を行うため、「ゆりかご面接(妊娠中の体やメンタル、赤ちゃんを迎える準備等の相談)」と、「おめでとう面接(初めての子育て、赤ちゃんとの接し方等の相談)」を実施し、ゆりかご応援グッズや誕生お祝い品を支給する事業。

基本計画(豊島区基本計画2022-2025) 施策の進捗状況を測る参考指標	現状値 <2019年度>	目標値 <2025年度>	参考値 <2030年度>
子ども家庭支援センター等での子育てに関する相談件数【件】	31,460	36,000	37,000

### 2. 子ども家庭支援センター利用状況

相談内容はしつけや生活習慣など、育児の基本的な問題が多いが、近年は、家族関係・経済・就労および養育者(母親)自身に関する相談が増えている。



#### 【子ども家庭支援センターとは】

子ども家庭支援センターは、区民との協働で子育て支援を行うことを目的に設置された施設で、東部・西部2か所の子ども家庭支援センターで事業を行っている。

事業内容は、保護者や子ども自身からの相談を受け関係機関と連携して問題解決を図る「相談事業」、就学までの親子が自由に遊ぶことができる「親子遊び広場事業」、育児講座や保護者の自主的な活動を支援する「地域組織化事業」等がある。また訪問相談員が訪問して子育ての相談に応じる「子育て訪問相談事業」、保護者の体調不良等で家事・育児に手助けが必要な家庭にヘルパーを派遣する「育児支援ヘルパー事業」、公立・私立保育園・スキップ等に巡回し発達相談ができる「巡回子育て発達相談事業」等がある。

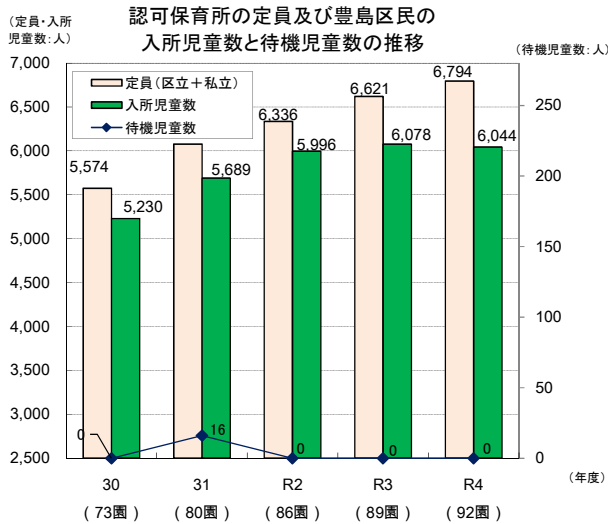
東部子ども家庭支援センターは、児童福祉法上の「要保護児童対策地域協議会」の事務局として児童虐待対応を行っている。また、西部子ども家庭支援センターでは、発達に心配のある子どもを対象に、「児童発達支援事業」を行っている。

基本計画(豊島区基本計画2022-2025) 施策の進捗状況を測る参考指標	現状値 <2019年度>	目標値 <2025年度>	参考値 <2030年度>
子ども家庭支援センターの利用者数【人】	71,958	75,000	80,000

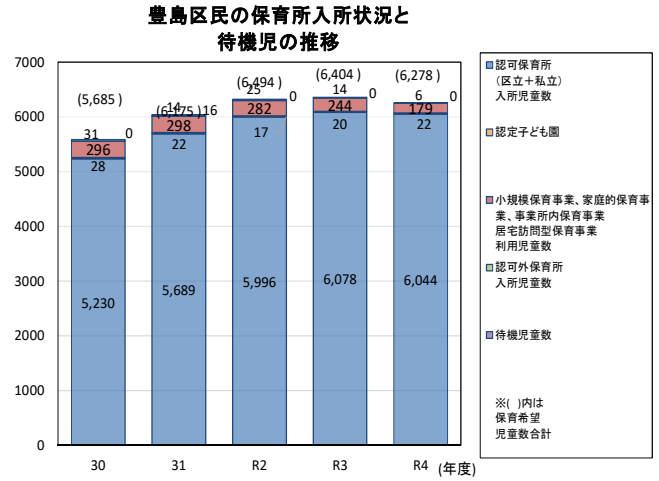
### 3. 保育園入所状況・待機児童数

女性の社会進出や経済的理由により共働きが増えたことや、大型マンションの建設増により保育所利用世帯の転入が増えたこと等で保育需要は増加している。

施設の新規開設や定員の弾力化により受入児童数を増やし、令和4年度は引き続き待機児童数0を達成した。



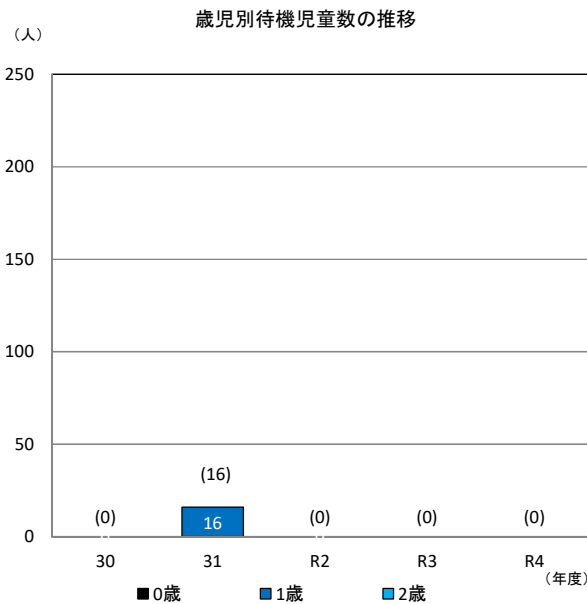
出典:保育課作成資料  
年度( )内は認可保育所数  
※各年度4月1日現在



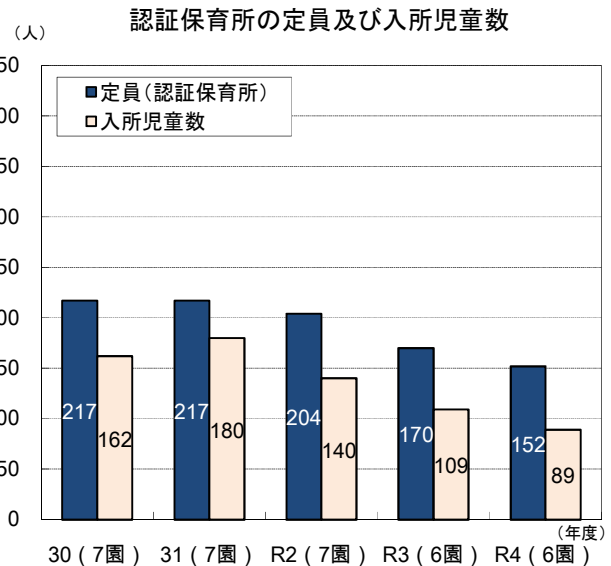
出典:保育課作成資料  
※各年度4月1日現在

※「待機児童数」は、認可保育所、認定こども園、小規模保育事業、家庭的保育事業、事業所内保育事業、居宅訪問型保育事業に入所できなかった人数から、認可外保育所等に入所した児童、特定の保育施設のみを希望している児童、保護者が求職活動を休止している児童及び保護者が育児休業を延長している児童の合計を引いた数値である。

※「認可外保育所入所児童数」は、認可保育施設への入所申込みをしているが入所できず、臨時保育所、認証保育所、企業主導型保育事業に在籍している児童の合計である。



出典:保育課作成資料  
※各年度4月1日現在

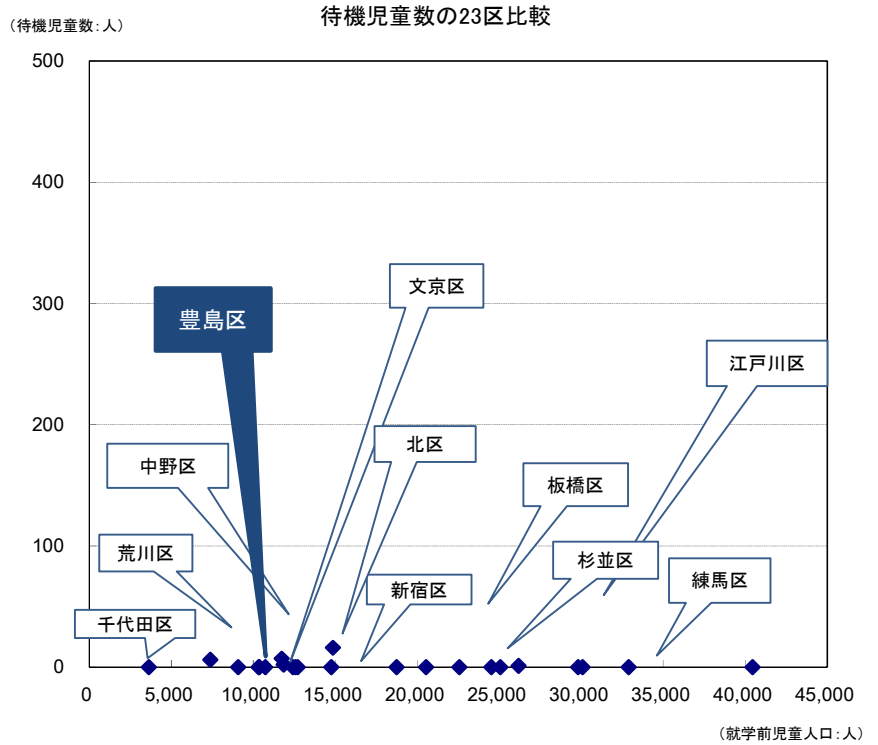


出典:保育課作成資料  
年度( )内は認証保育所数  
※各年度4月1日現在  
※入所児童数は、豊島区外児童も含む

基本計画(豊島区基本計画2022-2025) 施策の進捗状況を測る参考指標	現状値 <2021年度>	目標値 <2025年度>	参考値 <2030年度>
待機児童数【人】	0	0	0

令和4年4月の豊島区の待機児童数は、令和3年度に引き続き待機児童0を達成した。

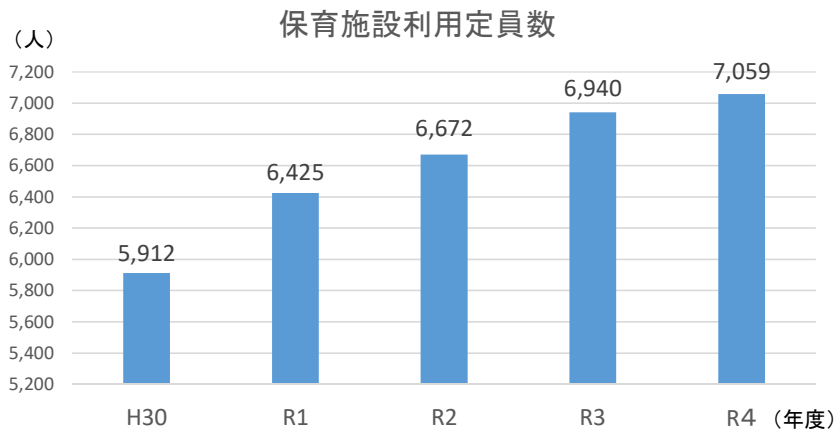
区名	就学前児童人口 (R4.4.1)	待機児童数 (R4.4.1)
千代田区	3,645	0
中央区	10,724	0
港区	14,765	0
新宿区	12,562	0
文京区	11,839	2
台東区	7,382	6
墨田区	11,735	7
江東区	25,065	0
品川区	20,535	0
目黒区	12,424	0
大田区	30,083	0
世田谷区	40,449	0
渋谷区	10,332	0
中野区	12,710	0
杉並区	24,518	0
豊島区	10,375	0
北区	14,857	16
荒川区	9,076	0
板橋区	22,559	0
練馬区	32,891	0
足立区	26,178	1
葛飾区	18,746	0
江戸川区	29,811	0
計	413,261	32
23区平均待機児童数		1



出典:保育課作成資料  
東京都福祉保健局報道発表資料「区市町村別の状況」(令和4年7月27日)より作成

#### 4. 保育施設利用定員数

待機児童対策として私立認可保育所の誘致を進めてきた結果、利用定員数は大きく増加してきたところであり、待機児童ゼロの維持にもつながっている。コロナ禍により中長期的な見通しを立てることが困難ななか、一部の保育施設では定員割れが生じており、保育所の誘致も限られていくことが想定されるなかで、今後、利用定員数を維持するとともに、保育需要のある地域での誘致を通して、利用定員の増加を図る。

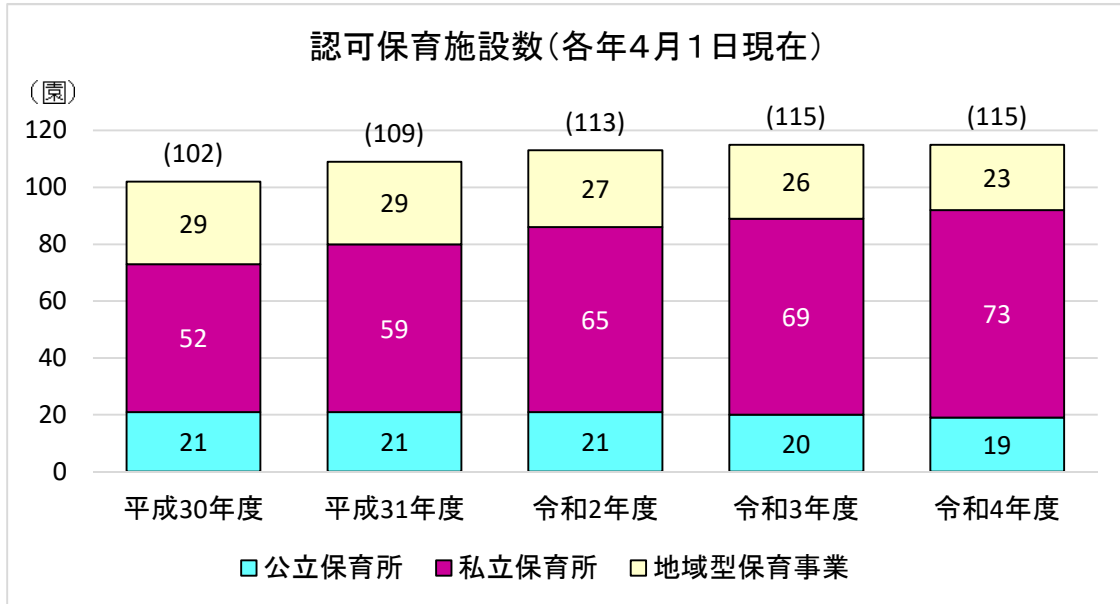


出典:保育課作成資料

基本計画(豊島区基本計画2022-2025) 施策の進捗状況を測る参考指標	現状値 <2021年度>	目標値 <2025年度>	参考値 <2030年度>
保育施設利用定員数【人】	6,940	8,289	8,289

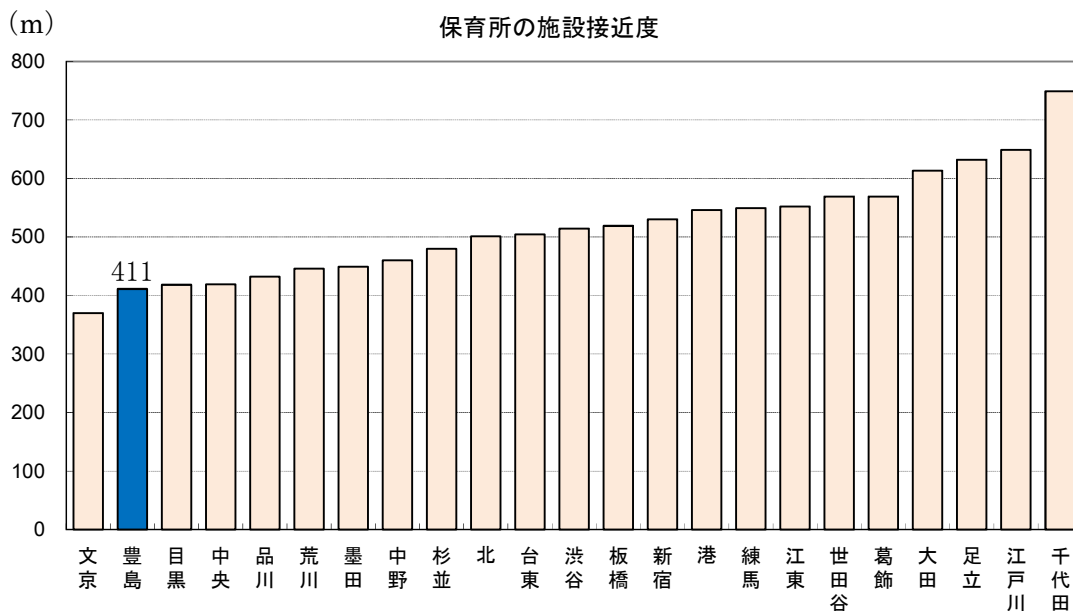
### 5. 認可保育施設数

豊島区は待機児童対策として私立認可保育所の誘致を推進してきた。その結果、令和4年度現在、区内の保育需要を満たせつつあるが、一部地域においては保育施設の定員に空きがない状況が続いている。コロナ禍により中長期的な見通しを立てることが困難な中、保育所の基準を満たす物件も限られてきており、保育所の誘致は困難となっているが、定員に余裕のない地域や再開発事業が進んでいく地域など必要な地域を見極めながら、保育施設を誘致することにより、最大限に地域の保育需要を満たせるよう適正な整備を行う。



出典：保育課作成資料

### 6. 保育所（区立+私立）の23区比較（施設接近度）



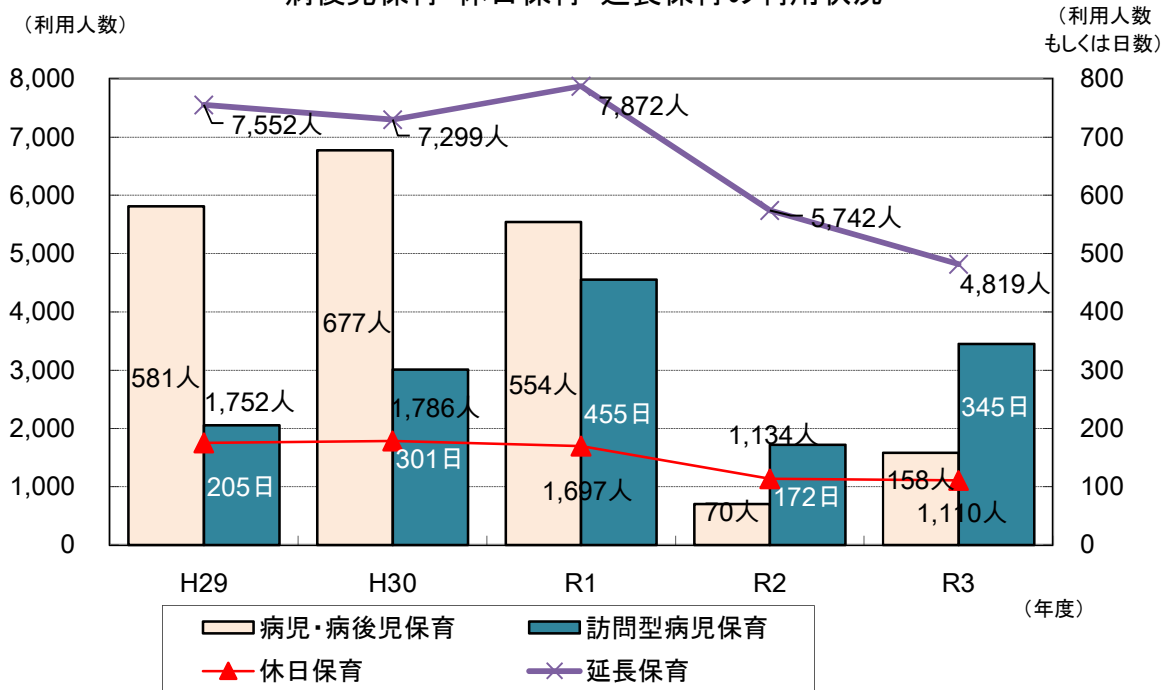
出典：「特別区の統計 令和3年版」(特別区協議会)より作成  
 ※施設接近度とは、一定の区域内の施設が均等に分布していると仮定した場合の施設相互間の距離をいう。



7. 病後児保育・休日保育・延長保育利用者数

平成30年度より病児保育を開始し、一時的に病児・病後児保育の利用者が増加したが、令和元年度以降は減少している。休日保育および延長保育は増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度以降、大きく減少している。訪問型病児保育も令和2年度に大きく減少したが、令和3年度に増加した。

病後児保育・休日保育・延長保育の利用状況

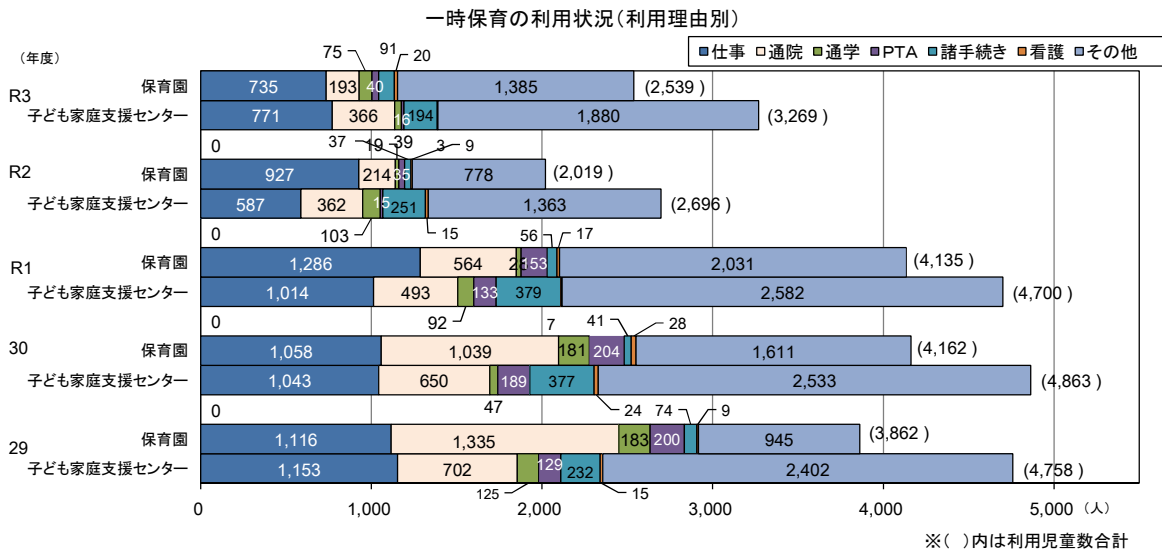
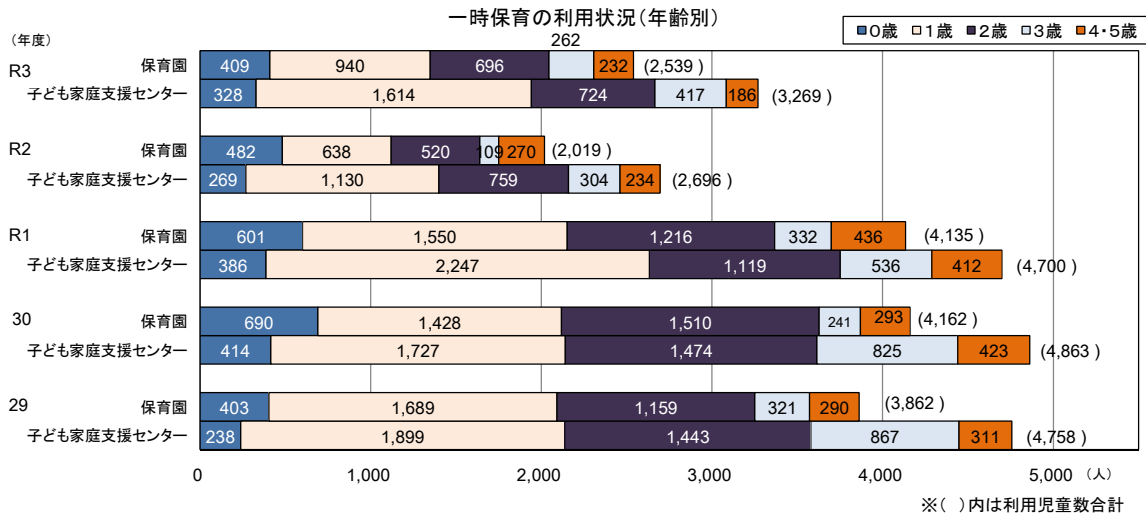


出典：保育課「病児・病後児保育・休日保育 実績報告書」「延長保育実績報告書(私立)」より  
 ※病後児保育・休日保育については、H18年度より開始

4-2 子ども・子育て支援の充実

8. 一時保育

区立保育園では平成19年6月より3園で実施し、各園定員1名のため利用数は全体の10~15%である。24年度よりさらに3園を拡充した。各園定員は1名であるものの、前年度比1.5倍の1153名と25年度に利用者が大幅に増えたが、27年度以降は減少傾向にある。しかし、定員が各園1名のため、利用できないとの声も多く31年4月から2園拡充した。私立保育園では令和4年度4月現在8園実施しており、総定数は42名となっている。令和3年度から地域型保育事業所が1園一時保育事業を開始した。



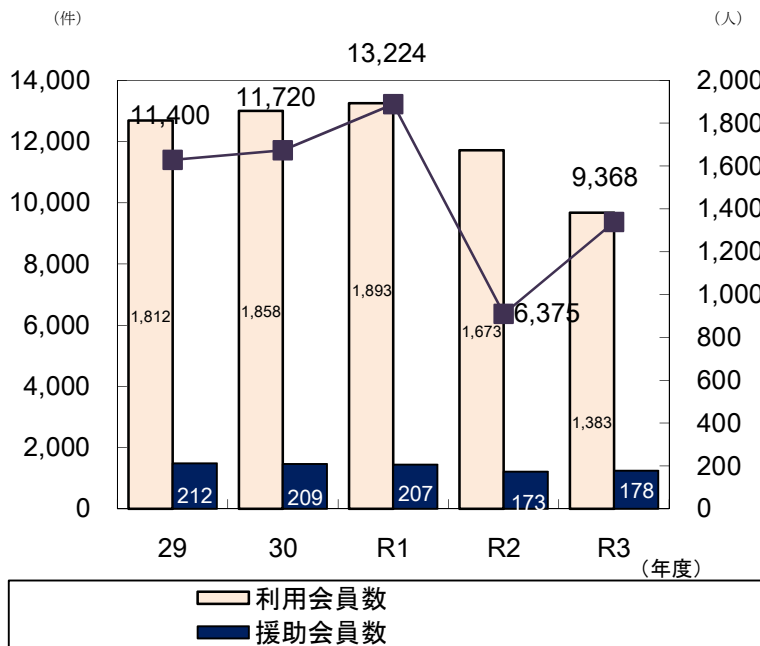
出典: 保育課、子ども家庭支援センター作成資料

### 9. ファミリー・サポート・センター援助会員活動件数

新型コロナウイルス感染症の影響により、活動件数は令和2年度に半減したが、令和3年度は回復傾向に転じた。

利用会員数は令和2年度からは減少に転じたが、利用状況（活動件数）から見ると、令和3年度は回復傾向にあり、利用会員数に対する利用率は上昇している。

#### ファミリー・サポート・センター 年度別援助会員の活動状況

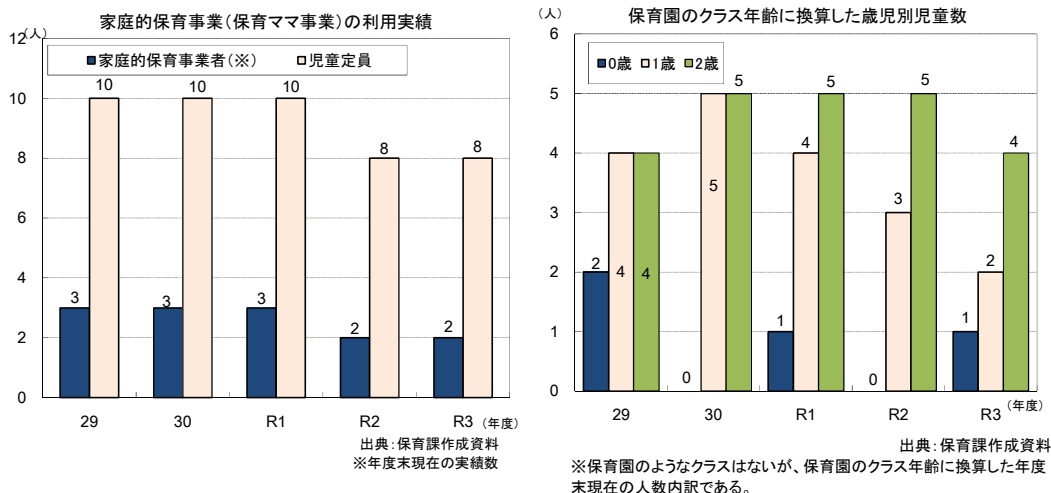


出典：子育て支援課作成資料

**【ファミリー・サポート・センターとは】**  
 ファミリー・サポート・センターは、子育て中の家庭を支援するために「子育ての手助けをしてほしい区民」（利用会員）と「子育ての手助けがしたい区民」からなる相互援助の会員組織である。  
 区は事務局として会員間の橋渡し（コーディネート）を行い、地域の中で実施される子育て支援活動を援助している。  
**【利用会員】**  
 豊島区に居住し、生後43日～小学校修了までの子どもを持つ方  
**【援助会員】**  
 豊島区に居住し、事務局が実施する講習会を受講修了された方

### 10. 家庭的保育事業（保育ママ事業）の利用状況

平成27年4月1日子ども・子育て支援新制度開始により、自宅型保育ママは家庭的保育事業へ移行した。施設型保育ママ（すくすくルーム）は、9か所のうち2か所が小規模保育事業A型へ移行し、6か所がC型へ移行した。令和元年度末に1か所開設したため、2か所となった。

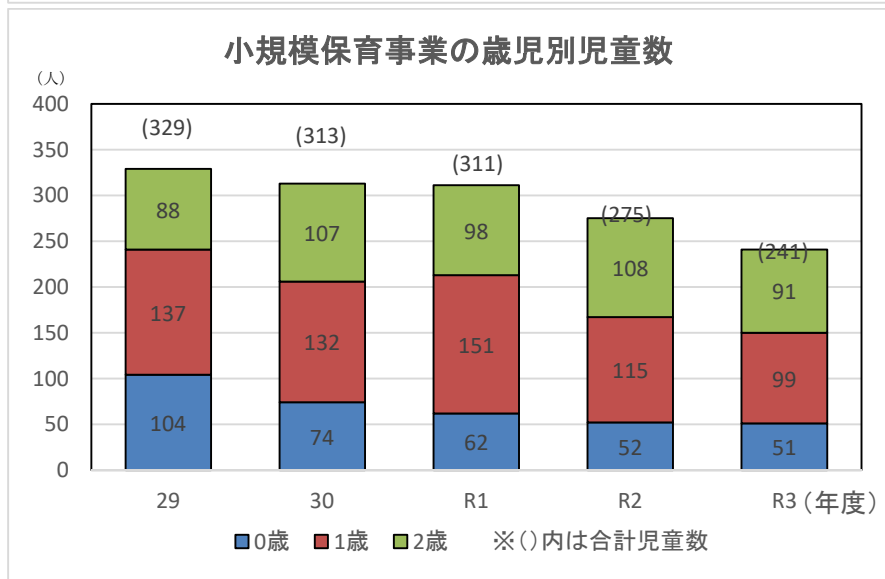
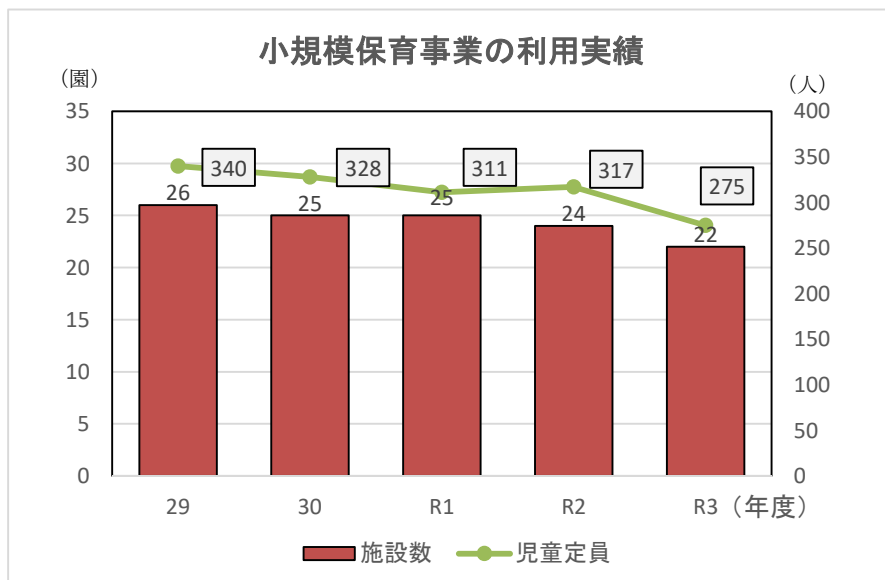


**【保育ママとは】**  
 認可保育所待機児童対策の一環として、区が認定した家庭的保育者が自宅での家庭的な雰囲気の中で乳幼児を保育する事業

## 4-2 子ども・子育て支援の充実

### 1.1. 小規模保育

平成26年度に4か所設置し、7か所となった。平成27年4月1日の「子ども・子育て支援新制度」開始により、小規模保育事業A型・B型・C型へ区分を整理し移行した。その他、平成27年度中に整備開設した施設を加え24か所となった。平成28年度に2か所開設し、認証から移行した1か所を含め27か所となった。平成29年度は1か所私立へ移行したため26か所となり、平成29年度末で1か所閉園し平成30年度より25か所となる。その後、令和元年度末に1か所閉園したことにより、令和2年度より24か所となっている。令和2年度末に1か所、令和3年5月末で1か所が閉園したことにより、令和3年度末は22か所となった。



**【小規模保育事業とは】**

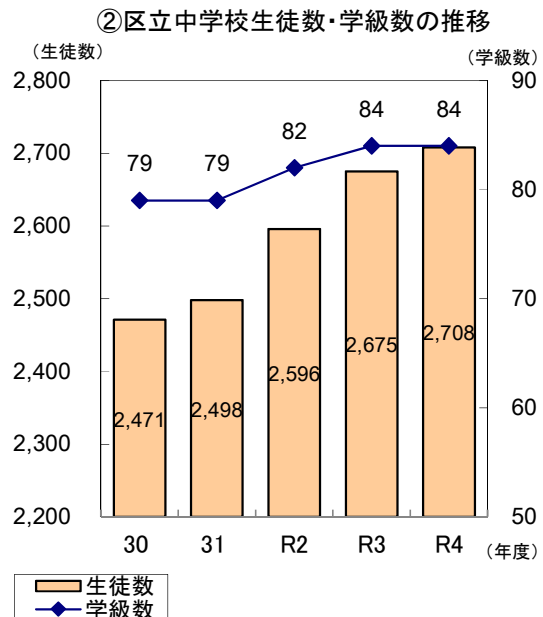
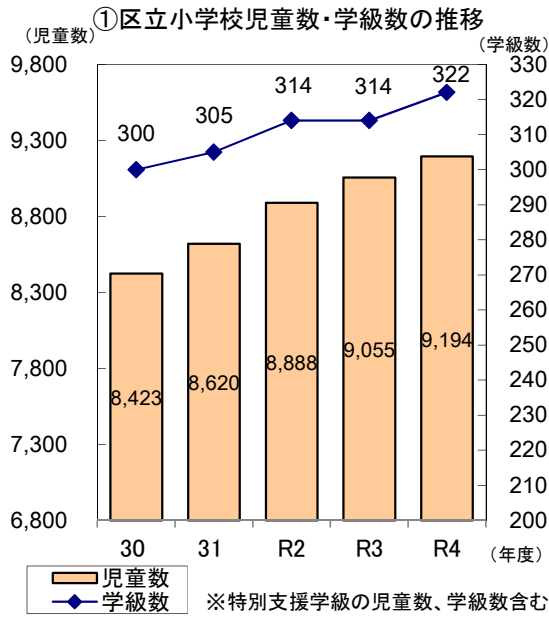
小規模保育事業は、区が施設や運営の基準を定め、民間事業者が空き家、空き店舗等を活用し、保育所の設置運営を行なう事業

### 3. 学校における教育

#### 1. 区立学校児童・生徒数の推移

出生率の低下の一方で、区内のマンション建築等によるファミリー世帯の転入に伴い、区立小学校の児童数及び学級数は増加傾向にある。また、令和3年3月の義務標準法の改正を踏まえ、令和7年度までに区立小学校の35人学級を計画的に整備するため、学級数はさらに増加が予想される。

区立中学校は、平成28年度以降、国公私立中学への入学者が増加傾向にあるため、生徒数及び学級数は減少していたが、住民登録者数の増加により令和元年度以降増加傾向にある。

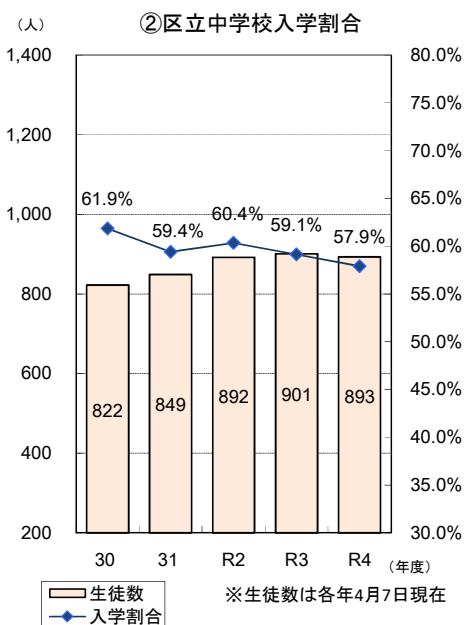
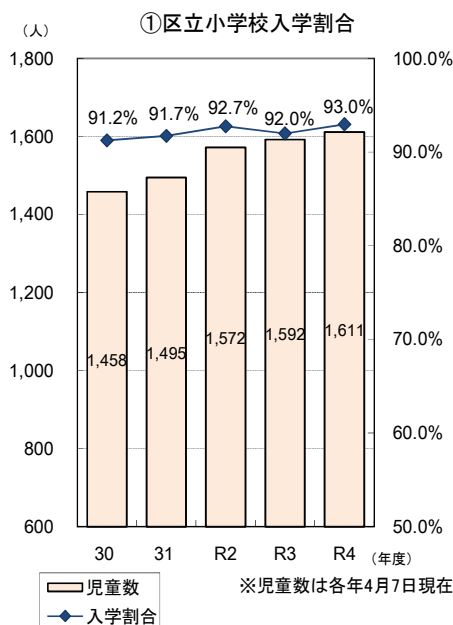


出典：例月児童生徒数調査(各年5月1日現在)

#### 2. 区立学校入学児童・生徒数と割合

近年はファミリー向けマンションの建築により学齢児童生徒数は増加傾向が見られるが、入学割合については概ね一定の割合で安定している。

区立中学校への入学割合については、平成28年度に国公私立中学への入学者数の増加により減少したのち、概ね一定の割合で推移していたものの、令和3年度から再び減少傾向が見られる。

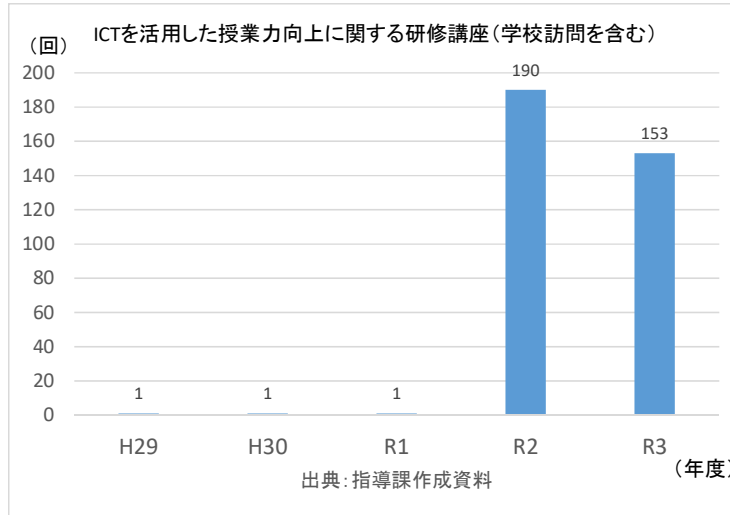


出典：公立小・中学校学級編制(特別支援学級を含む)の基礎となる児童・生徒数調査(※4月7日時点)、隣接校選択制希望票郵送状況(※学齢児童・生徒数)

4-3 学校における教育

3. ICTを活用した授業力向上に関する研修講座

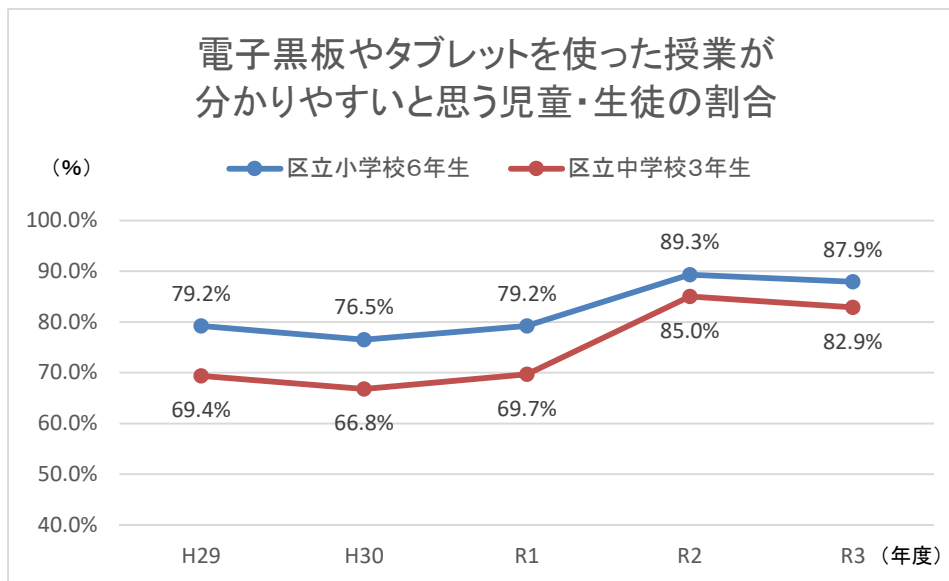
令和2年9月に区立小・中学校の児童・生徒全員に、タブレットパソコンを配布した。タブレットパソコンの活用については、全教科の代表教員による授業開発、各校での活用週間の設定、若手教員育成1年次(初任者)研修におけるICT活用についての内容の必修化等を行った。また、学校訪問の際には活用状況の把握や、活用の仕方についての指導・助言を実施した。



基本計画(豊島区基本計画2022-2025) 施策の進捗状況を測る参考指標	現状値 <2020年度>	目標値 <2025年度>	参考値 <2030年度>
ICTを活用した授業力向上に関する研修講座(学校訪問も含む)【回】	190	215	240

4. ICTを活用した授業に満足した児童・生徒の割合

令和2年度に一人1台タブレットパソコンの配布が完了し、令和3年度はさらに日常的にタブレットパソコンの機能を活用した授業が増えた。今回の結果は児童・生徒が扱いに慣れてきているため横ばいに推移したと考えられる。今後もICT機器を活用した授業について検討していく。



出典:「令和3年度 心理検査」

### 5. 区学力調査で目標値を達成する児童・生徒の割合

小学校では国語、算数、社会の達成率が全国を上回っている。中学校では、国語、英語の達成率が全国を上回り、数学では近い数値となっている。一方で、小学校では理科、全中学校では社会と理科で全国値を下回った。

児童・生徒の主体性を生み出すような課題設定を行い、資料の活用や実験結果の考察から課題を解決していくような授業作りを行っていく必要がある。

※達成率とは、目標値と同程度以上の正答率であった児童・生徒の割合をいう。

#### 【令和3年度「豊島区学習状況調査」】

豊島区教育委員会は平成15年度から区立小・中学校の児童・生徒の学力等の状況を把握し、その結果や経年の変化等、分析、比較、検討することで各学校での指導改善に役立てる目的として、「基礎的・基本的な内容の定着」について調査を行っている。

#### (1)実施期間

令和3年5月24日(月)～6月11日(金)

#### (2)調査人数

小学校3年～6年児童 22校 5,637名

中学校1年～3年生徒 8校 2,452名

#### (3)調査内容

小学校3年:国語、算数

小学校4年:国語、算数、理科

小学校5年:国語、社会、算数、理科

小学校6年:国語、社会、算数、理科

中学校1年:国語、社会、数学、理科

中学校2年:国語、社会、数学、理科、英語

中学校3年:国語、社会、数学、理科、英語

#### (4)調査方法

各教科ともペーパーテストによる調査(国語・英語の聞き取りはCDを使用)

※令和2年度に学習した内容についての調査である。中学校2年生、3年生は、改定前(平成21年公示)の学習指導要領に準じた内容や評価の観点となっている。

○全学年 児童・生徒達成率

凡例	
目標正答率	区正答率
	全国正答率

学年	教科全体	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		76.5	74.4	72.5	64.0	64.3		
小3	71.3	72.1	71.3	65.8	64.0	58.0		
		75.9	76.9	70.7		68.0		
小4	68.5	69.3	70.1	63.0	61.0	58.2		
		74.2	73.7	70.8		65.1		
小5	65.6	67.8	69.5	61.6	56.0	55.0		
		68.6	64.7	69.9		69.7		
小6	61.3	62.5	60.2	61.7	57.0	57.6		
		75.5	77.6	74.3		78.3		
中1	67.4	71.4	75.0	68.5	65.0	71.6		
		学年	教科全体	国語への関心・意欲・態度		話す・聞く能力	書く能力	読む能力
中2	65.3	70.8	68.7	81.3	52.1	58.6	73.0	78.6
		68.5	66.0	81.5		54.2		59.0
中3	65.5	72.5	70.2	71.9	58.8	64.4	61.3	75.8
		68.5	68.7	70.7		60.8		64.9

4-3 学校における教育

	学年	教科全体		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
社会	小5	61.7	61.8	66.1	67.1	52.8	51.3	52.1	53.3
			55.8		60.7		46.0		46.1
	小6	62.9	61.7	68.0	66.0	50.0	51.0	52.0	53.7
			60.7		66.9		45.2		49.6
	中1	54.3	54.2	57.2	54.6	50.4	53.6	47.2	51.9
			54.3		56.5		51.3		48.3
学年	教科全体	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解				
中2	55.2	52.6	50.5	46.4	51.9	48.7	53.8	56.4	54.2
		55.3		51.0		52.3			53.8
中3	55.4	53.0	46.4	48.1	50.8	51.0	55.8	56.0	52.8
		55.5		47.2		51.1			56.5

	学年	教科全体		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
算数・数学	小3	73.4	79.5	76.5	82.6	60.0	65.9	66.1	75.0
			75.5		79.2		59.6		69.0
	小4	69.8	75.7	72.2	77.9	61.4	68.0	67.1	76.9
			70.9		73.4		61.8		69.3
	小5	65.2	71.2	68.4	73.8	53.6	62.0	51.4	60.3
			65.3		68.8		52.8		52.0
	小6	67.0	72.7	71.7	77.2	58.2	64.1	52.5	60.4
			68.8		74.8		57.3		52.3
	中1	68.3	69.5	71.3	72.8	58.1	58.5	64.1	65.1
			68.2		71.5		57.3		63.4
	学年	教科全体	数学への関心・意欲・態度	数学的な思考・判断・表現	数学的な技能	数量や図形についての知識・理解			
	中2	59.7	58.5	51.1	50.3	49.7	49.6	67.0	57.9
58.6			49.8		49.3		66.0		
中3	55.5	57.1	43.5	44.6	47.0	47.8	58.2	58.3	59.5
		54.7		40.6		44.3			57.9

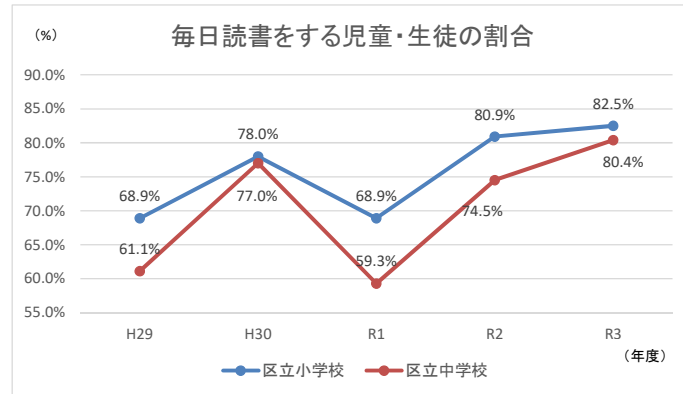
	学年	教科全体		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
理科	小4	66.2	65.2	71.9	69.4	61.8	62.1	52.0	46.3
			68.9		75.5		63.9		52.6
	小5	64.2	60.7	71.6	66.0	56.3	55.0	57.0	52.0
			68.1		76.2		59.5		61.6
	小6	64.3	62.7	68.4	65.0	59.6	60.1	49.0	48.8
			66.2		69.8		62.0		50.0
	中1	58.2	55.3	58.2	49.2	58.3	59.5	53.3	56.5
			57.2		55.7		58.3		56.0
	学年	教科全体	自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・判断・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解			
	中2	53.5	46.2	55.8	54.0	52.1	49.3	51.8	57.6
52.0			53.7		52.1		49.7		
中3	57.4	55.1	50.0	48.4	53.6	51.8	65.0	60.2	58.1
		58.1		51.3		53.1			66.1

	学年	教科全体		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
英語	学年	教科全体	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解			
	中2	56.8	59.5	57.9	61.5	42.3	45.3	61.8	63.8
			54.7		56.9		38.9		59.0
	中3	62.8	68.3	61.1	66.6	50.6	58.1	65.9	71.5
			62.8		59.0		47.6		67.0



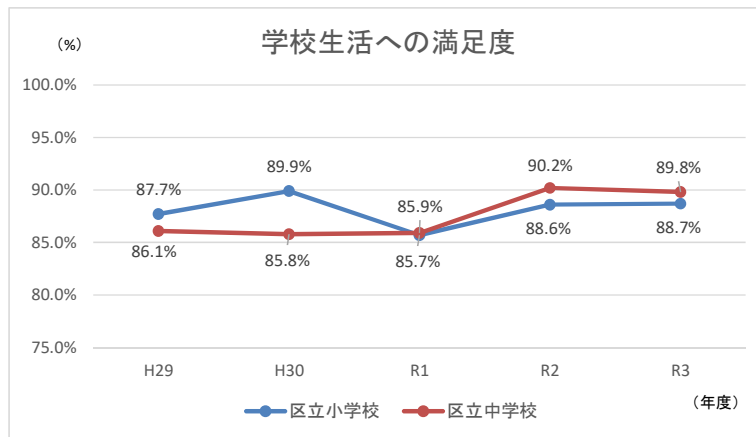
### 6. 読書が好きな児童・生徒の割合

令和2年度より、「毎日どのくらい読書をするか」について調査を実施している。毎日短時間であっても、読書をする児童・生徒は小学校で約82.5%、中学校では80.4%おり、読書の習慣化が進んでいる。



出典:「令和3年度第2回心理検査」  
毎日読書をどのくらいしますか」に対し、「2時間以上」「1～2時間」「1時間未満」と回答した児童・生徒の割合

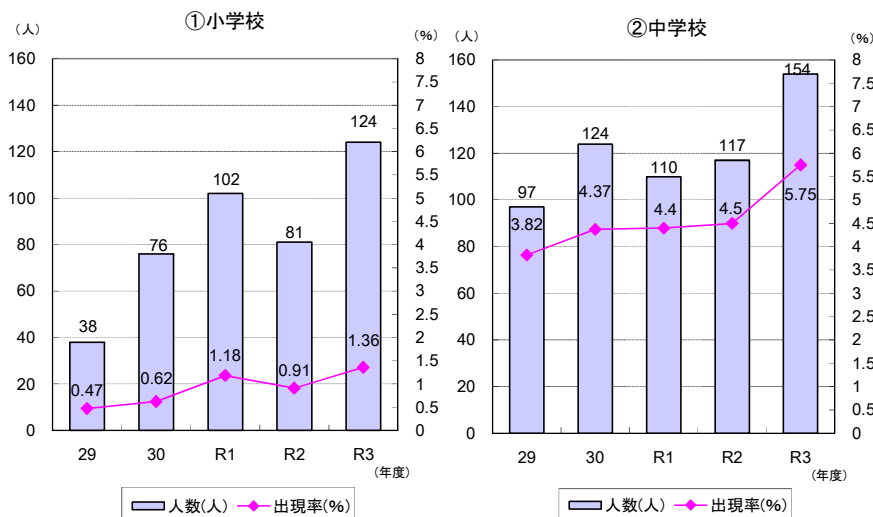
### 7. 学校生活への満足度



出典:平成28～令和元年度「基礎的・基本的な内容の定着に関する調査」  
令和2～3年度「第2回心理検査」  
「今のクラスが好きですか」に対し、「とてもそう思う」「そう思う」と回答した児童・生徒の割合

### 8. 不登校児童・生徒の推移

学校種別にみると、出現率は、前年度と比較して、小学校・中学校ともに増加している。令和2年度は新型コロナウイルス感染予防対策のために臨時休業があったため、小学校では減少、中学校では大きな変化はなかった。令和3年度の小・中学校の不登校の主たる要因としては、小学校、中学校ともに「本人の無気力や不安感」が最も多くなっている。



出典:「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

9. 児童・生徒の体力・運動能力の状況

【令和3年度「豊島区立小・中学校児童・生徒の体力・運動能力調査(報告)」】

東京都及び豊島区立学校の体力・運動能力調査結果等からも明らかなように、児童・生徒の体力は低下傾向にある。調査を通じて児童・生徒の意識・向上を図ることをねらいとしている。

(1)実施期間:令和3年6月～7月 (2)調査人数及び調査内容:小学校9校・中学校6校の一部児童・生徒

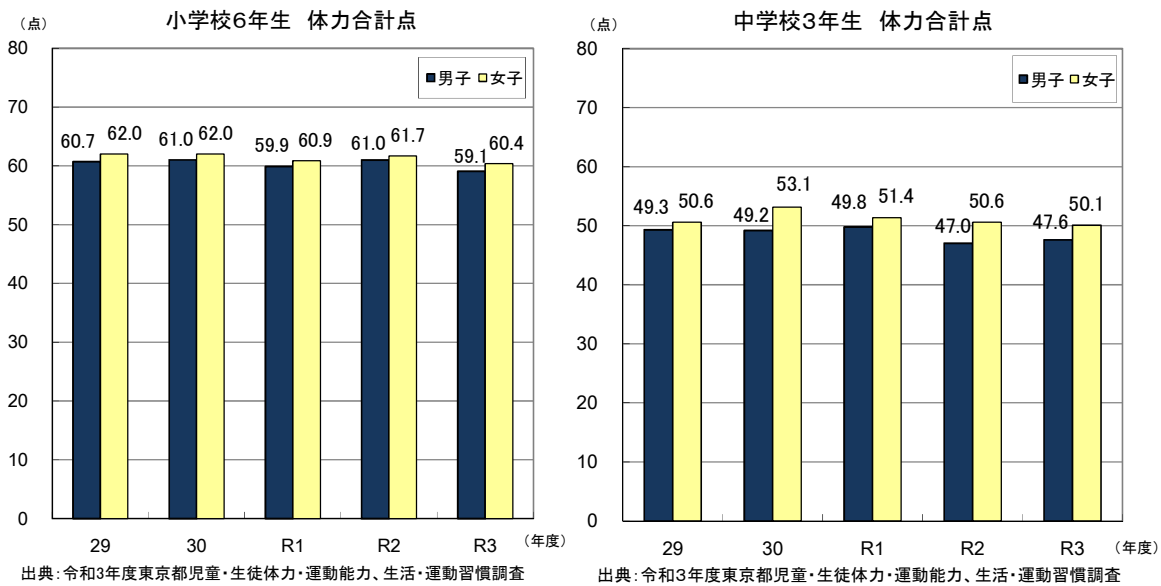
(3)実施種目:文部科学省「新体力テスト」に基づく8種目

出典:令和3年度「東京都児童・生徒体力・運動能力習慣調査」

小学生			体格		体力テスト種目								
			身長	体重	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
			(cm)	(kg)	(kg)	(回)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(cm)	(m)	(点)
男子	1年生	東京都	117.1	21.3	8.8	10.9	25.9	26.3	16.9	11.5	112.8	7.2	29.2
		豊島区	117.5	21.4	8.6	11.2	25.7	27.1	16.9	11.4	115.4	6.9	29.6
	2年生	東京都	123.1	24.0	10.5	13.3	27.7	29.8	25.1	10.6	124.0	10.2	36.2
		豊島区	123.3	24.1	10.3	13.0	28.0	29.0	24.6	10.4	126.2	10.5	36.4
	3年生	東京都	128.8	27.1	12.4	15.4	29.8	33.0	31.7	10.0	134.4	13.5	42.1
		豊島区	129.5	27.3	12.0	15.5	29.5	34.1	30.0	9.9	135.5	13.3	42.4
	4年生	東京都	134.2	30.5	14.3	17.6	31.8	36.9	38.9	9.6	143.3	16.8	47.9
		豊島区	134.5	30.8	13.5	17.1	31.6	36.8	36.6	9.5	143.4	16.7	47.1
	5年生	東京都	139.6	34.0	16.4	19.2	34.0	40.8	45.8	9.2	152.8	20.0	53.3
		豊島区	140.1	34.7	16.3	18.7	34.2	41.7	44.3	9.1	154.9	20.3	53.7
	6年生	東京都	146.2	38.8	19.2	21.0	36.0	44.0	53.3	8.8	163.9	23.6	59.0
		豊島区	146.3	38.8	18.8	20.9	35.5	44.3	51.7	8.7	164.9	24.5	59.1
女子	1年生	東京都	116.1	20.9	8.3	10.6	28.4	25.5	14.0	11.8	105.4	5.1	29.3
		豊島区	116.3	21.1	8.0	10.5	28.4	26.4	14.3	11.7	107.1	4.9	29.6
	2年生	東京都	122.1	23.5	10.0	13.0	30.7	28.8	19.7	10.9	116.3	6.8	36.7
		豊島区	122.5	23.7	9.9	12.8	31.2	28.3	20.0	10.7	118.5	6.6	37.0
	3年生	東京都	128.0	26.4	11.7	15.0	33.4	31.4	24.2	10.4	126.5	8.6	42.7
		豊島区	127.9	26.3	11.1	15.0	32.7	32.6	23.7	10.1	128.5	8.1	42.8
	4年生	東京都	134.3	29.9	13.6	17.0	35.9	35.3	30.1	9.9	136.5	10.6	49.0
		豊島区	134.2	29.7	12.9	16.9	36.1	35.9	30.2	9.7	138.3	10.2	49.6
	5年生	東京都	141.3	34.4	16.2	18.4	38.7	39.0	36.2	9.5	145.9	12.6	55.0
		豊島区	141.9	34.7	16.1	18.2	39.5	40.5	36.3	9.3	149.6	12.5	56.2
	6年生	東京都	147.6	39.3	18.9	19.5	41.3	41.8	40.9	9.1	154.2	14.3	60.0
		豊島区	148.1	39.9	18.7	20.0	41.6	42.3	39.9	8.9	154.4	14.3	60.4

中学生			体格		体力テスト種目								
			身長	体重	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
			(cm)	(kg)	(kg)	(回)	(cm)	(回)	(秒)	(m)	(cm)	(m)	(点)
男子	1年生	東京都	154.3	44.2	23.5	23.1	39.0	48.3	436.1	8.5	180.9	17.3	32.4
		豊島区	155.8	46.0	24.9	22.6	37.8	47.6	439.7	8.6	179.9	17.0	31.7
	2年生	東京都	161.3	49.0	28.6	25.8	42.4	51.5	396.7	7.9	196.6	20.1	40.1
		豊島区	162.0	50.3	29.8	25.7	43.0	51.6	401.2	7.9	197.0	19.2	40.1
	3年生	東京都	166.5	53.6	33.2	28.1	46.0	54.4	382.8	7.5	211.2	22.9	47.2
		豊島区	166.8	53.7	34.0	28.5	44.7	54.0	381.3	7.5	210.0	23.0	47.6
女子	1年生	東京都	152.5	43.5	21.1	20.4	43.0	44.8	312.0	9.1	164.0	10.9	42.5
		豊島区	152.7	44.3	21.3	19.8	41.3	44.6	318.2	9.1	162.5	10.3	40.9
	2年生	東京都	155.5	46.9	23.1	22.4	45.5	46.3	295.8	8.8	168.0	12.3	47.6
		豊島区	155.8	47.3	23.6	21.6	44.4	46.0	296.3	8.8	166.3	11.7	46.3
	3年生	東京都	157.1	49.0	24.4	23.7	47.5	47.4	295.5	8.7	171.4	13.3	50.6
		豊島区	157.1	49.1	25.0	22.9	46.6	46.2	295.6	8.6	170.1	13.0	50.1

10. 体力・運動能力調査体力合計点（小学校6年生・中学校3年生）



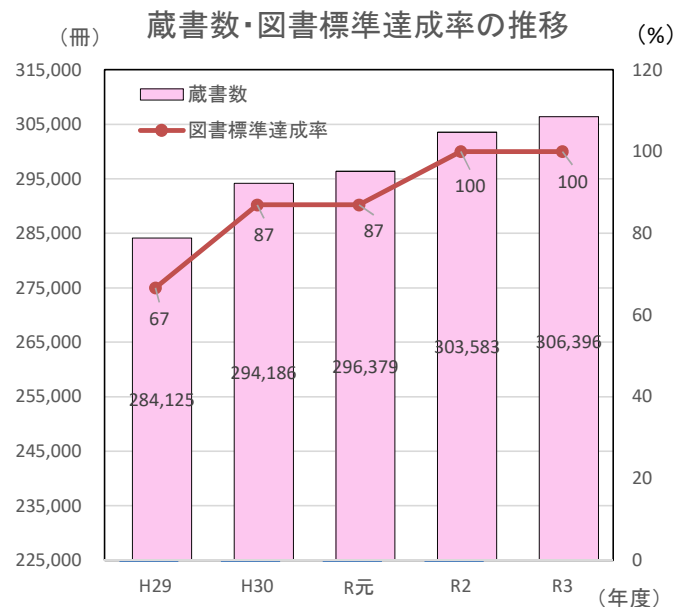
基本計画(豊島区基本計画2022-2025) 施策の進捗状況を測る参考指標	現状値 <2020年度>	目標値 <2025年度>	参考値 <2030年度>
東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査体力合計点【ポイント】	小6 61.4 中3 48.8	小6 62.5 中3 50.0	小6 63.6 中3 51.5

11. 区立小・中学校図書館の蔵書数

豊島区の区立小・中学校の蔵書数は、学校図書館のデータベース化に伴い、古い図書の廃棄処分が進んだ結果、蔵書数が減少した時期もあった。しかし、図書の入れ替えが概ね終了したことから、平成25年度より、各学校の蔵書数が増加し、公立学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準として文部科学省が定めている「学校図書館図書標準」(学級数に応じた標準蔵書数)を達成している学校数が伸びてきている。

平成30年度以降「学校図書館図書標準」を達成する学校が増加し、令和2年度以降、全校達成の状況が続いている。豊島区の児童・生徒数は増加傾向にあり、学級数が増えることにより、図書標準の基準も増加し、図書を置くスペースの確保が課題となっている。

今後も引き続き「学校図書館図書標準」の達成を維持しつつ、読書環境を整備し、児童・生徒の読書習慣を確立することを目指す。

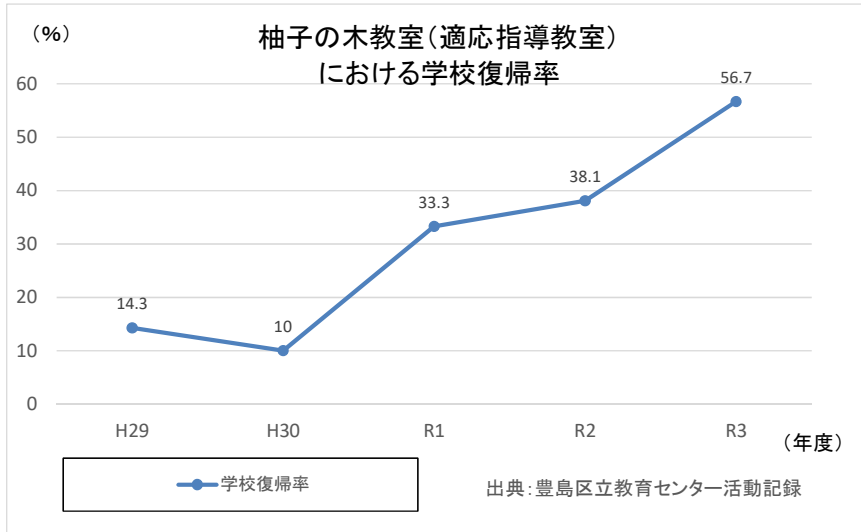


出典: 学務課作成資料(学校図書館図書等の整備状況調査)

### 4-3 学校における教育

#### 1.2. 学校復帰率

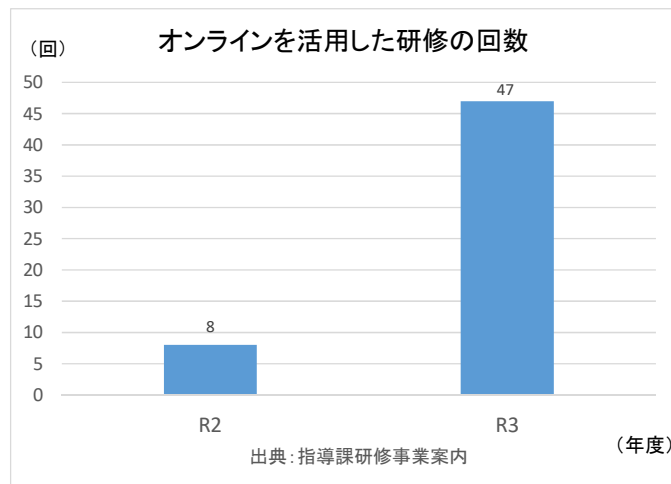
児童・生徒が柚子の木教室（適応指導教室）に入る目的として、学校には登校できないが落ち着いて学習できる環境（学習機能）と、引きこもり傾向にあり家庭から出て活動する場所（居場所機能）を求めており、それぞれの機能を充実させるために環境の整備や運営の改善を図ってきた。また社会への適応支援として、校外学習、SST等を実施すると共にSSWや教育相談との連携や学校訪問による支援を行った。柚子の木教室における学校復帰率は、在籍60人のうち34人復帰し、57%の復帰率となっている。



基本計画(豊島区基本計画2022-2025) 施策の進捗状況を測る参考指標	現状値 <2020年度>	目標値 <2025年度>	参考値 <2030年度>
学校復帰率【%】	38.1	43.0	48.0

#### 1.3. オンラインを活用した研修の回数

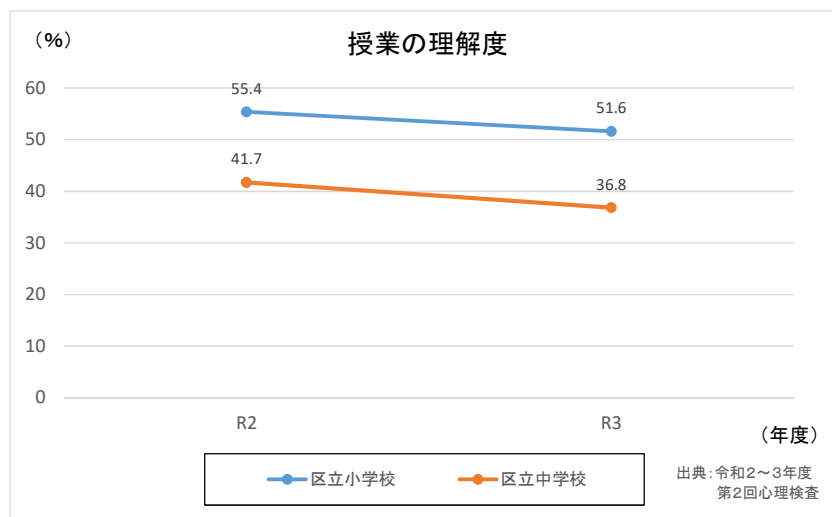
令和3年度は、7講座をオンラインでの実施として計画していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、集合を予定していた講座のうち40講座を、オンラインへと変更した。全82講座中、47講座をオンラインにて実施した。令和4年度は、27講座での実施を計画している。



基本計画(豊島区基本計画2022-2025) 施策の進捗状況を測る参考指標	現状値 <2020年度>	目標値 <2025年度>	参考値 <2030年度>
オンラインを活用した研修の回数【回】	8	20	50

## 14. 授業の理解度

小学校は小学校の半数の児童及び中学校の約4割の生徒が「よく分かった」と回答し、各校の授業改善が進んでいると考えられる。令和3年度の数値が下降しているのは、コロナ禍における様々な授業の制約が原因と考えられ、引き続き指導方法の工夫が必要である。

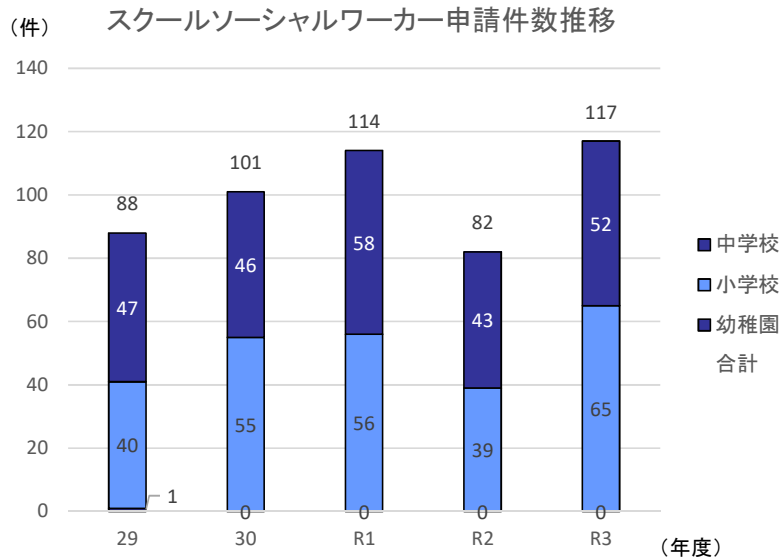


基本計画(豊島区基本計画2022-2025) 施策の進捗状況を測る参考指標	現状値 <2020年度>	目標値 <2025年度>	参考値 <2030年度>
区児童生徒意識調査「授業の理解度」【%】	小6 55.4 中3 41.7	小6 60.0 中3 50.0	小6 65.0 中3 55.0

## 4. 家庭と地域の教育力の向上

### 1. スクールソーシャルワーカーの申請件数推移

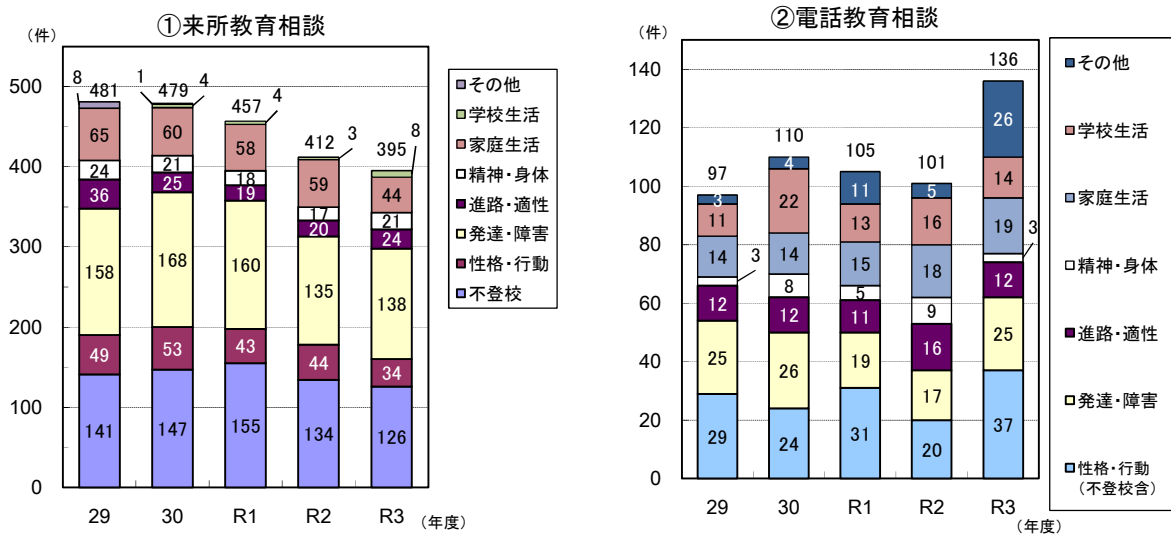
複数のSSWがそれぞれの強みを生かしながら組織対応するとともに、関係機関との連携も積極的に行うことで、児童・生徒の学びの保障に取り組んだ。引き続き新型コロナウイルスの影響を受けた一年ではあったが、不登校対策会議の全小・中学校での開催やオンラインの活用など、支援の手を緩めることなく活動をつづけた。間接支援、助言指導など18件を含む全申請・支援ケースは117件となり、直接支援を行った99件中65件、65.7%で問題の解消又は改善が見られた。



出典：豊島区立教育センター活動記録

### 2. 教育相談の内容別件数

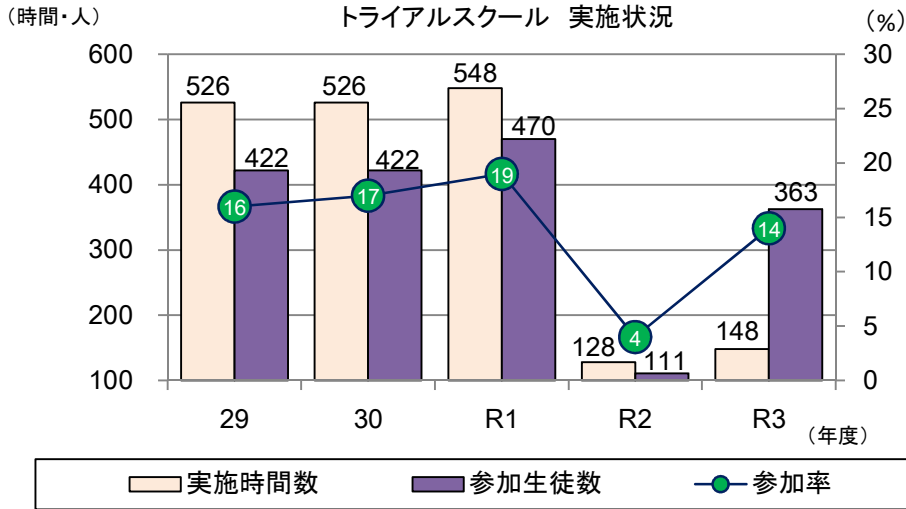
子どもの成長に伴って生じてくる様々な心配事や悩みについて、来所による継続的な相談を行っている。幼児から高校生相当年齢までの子どもやその保護者を対象に、予約制の面接を基本とし、必要に応じて発達検査や関係機関との連携も行っている。また匿名で利用できる電話による相談も行っている。近年は家庭内の問題が複雑化し、子どもや家庭を多面的に理解し支援するため、学校や医療・福祉との連携が必要なケースも多い。



出典：豊島区立教育センター活動記録

### 3. トライアルスクールの実施状況

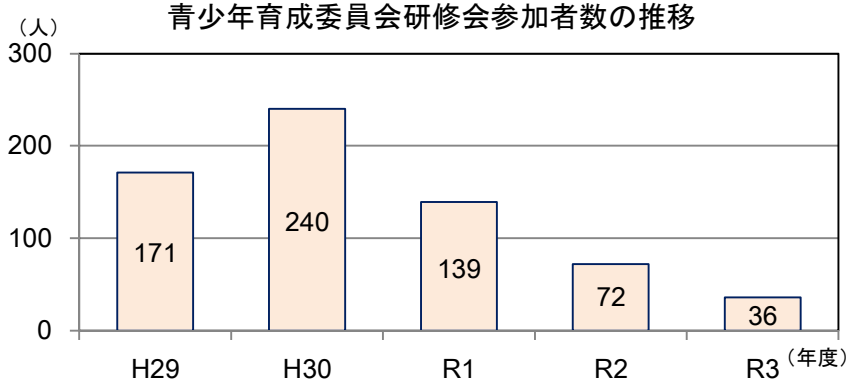
過去数年間は、年間実施時間は5～600時間前後で推移し、令和元年度は前年比微増であった。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響があり、実施時間が大きく減少した。令和3年度はトライアルスクールが再開され、参加生徒率が大きく増加した。



出典：指導課作成資料

### 4. 青少年育成委員会

研修会への参加意識はとても高い。※改選期2年毎の新任研修などは開催しない年もあり変動する。

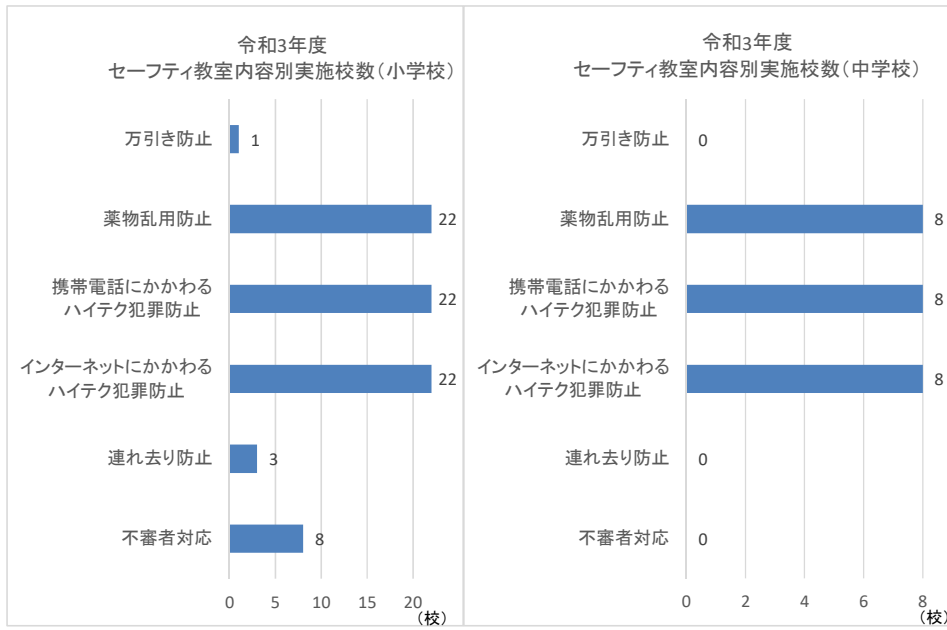


出典：子ども若者課作成資料(としまのいくせい)

【青少年育成委員会とは】  
区内12地区に分かれ青少年の健全育成のための活動を行っている団体。  
区は、委員の資質向上のための研修会の実施、補助金の支出、12地区の情報交換の場の提供などを行っている。

4-4 家庭と地域の教育力の向上

5. セーフティ教室の実施状況

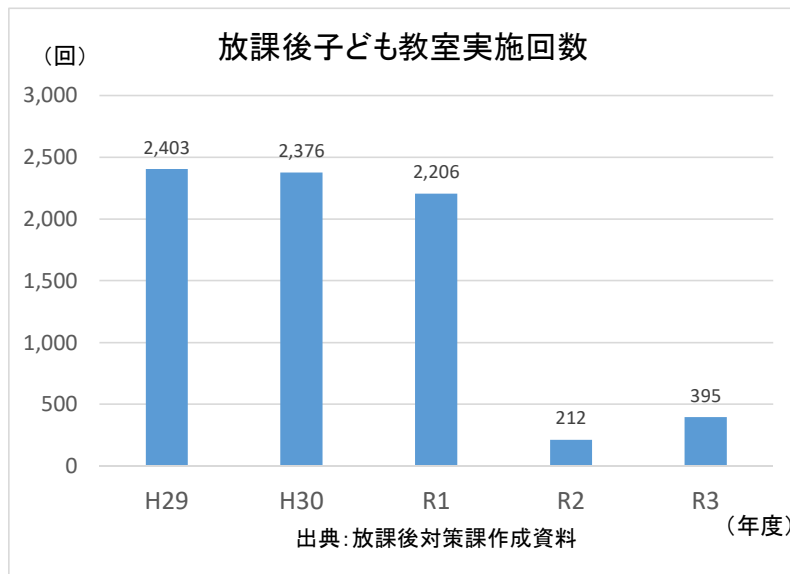


出典: 指導課作成資料

【セーフティ教室とは】  
区内の全小・中学校において、非行防止、犯罪被害防止を目的に、各学校で年に1回以上実施し、児童・生徒の安全教育を推進している。

6. 地域人材を活用した放課後子ども教室の実施回数

22小学校区毎に教室があり、各教室の年間平均実施回数は100回程度である。令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染予防のために教室を休止したことにより、減少している。

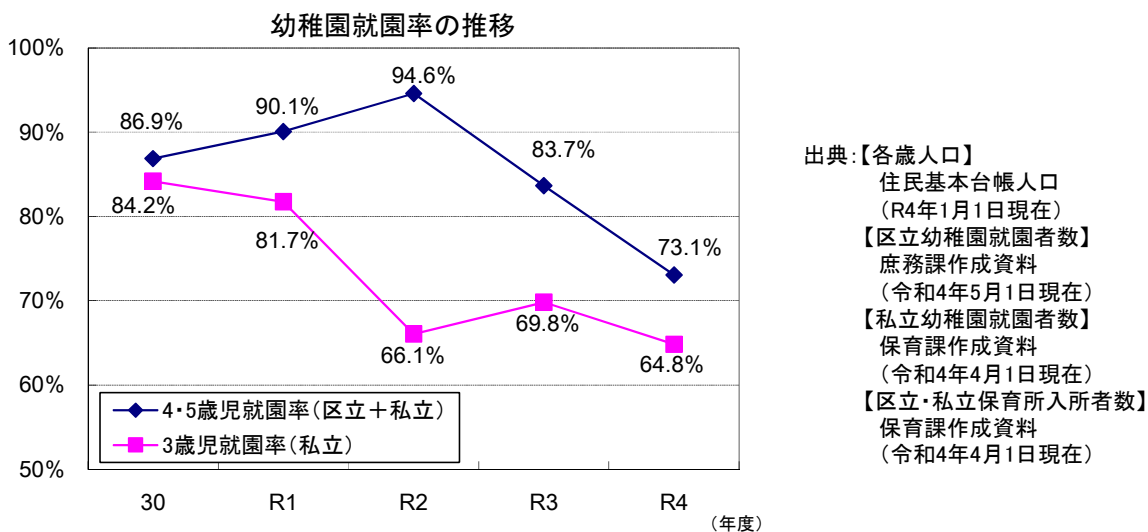


基本計画(豊島区基本計画2022-2025) 施策の進捗状況を測る参考指標	現状値 <2020年度>	目標値 <2025年度>	参考値 <2030年度>
地域人材を活用した放課後子ども教室の実施回数【回】	212	2,300	2,350



## 5. 生きる力の土台となる就学前教育の充実

### 1. 幼稚園就園率の推移



$$\text{就園率} = \frac{\text{幼稚園就園者数}}{\text{各歳人口} - \text{認可保育所(区立・私立)入所者数}}$$

### 2. 区立幼稚園園児数の推移

4歳児の新入園募集期間の応募状況は、平成30年度から毎年減少している。また、預かり保育を平成24年度から3園で実施しており、平成30年度から池袋幼稚園において、長期休業中の預かり保育を試行実施し、令和2年度の夏休みからは3園で実施している。

